

情緒学級の安心感ある環境づくり

実践チェックリスト

迷いにくさ・子ども同士の安心・大人の連携を点検する

学級名： _____

確認日： _____

確認者： _____

次回確認日： _____

1

迷いにくい環境

予定・場所・行動の
見通しを整える

2

安心して関われる環境

安全を守り、無理のない
反応のやり取りを作る

3

大人が連携する環境

情報・役割・対応を共有し
安定して支える

使い方

- 各項目を「できている・一部できている・見直しが必要」の3段階で確認します。
- すべてを一度に改善せず、最後のページで優先する項目を3つまで選びます。
- 子どもの姿や教室の状況が変わったとき、学期ごとなどに繰り返し確認します。

確認するときの視点

「できていない項目を責める」のではなく、子どもが迷う場面・関係が不安定になる場面・大人の連携が途切れる場面を見つけ、環境を調整するために使用します。

1. 子どもが迷いにくい環境をつくる

時間や活動の見通し

○	×	確認項目
☐	☐	☐ 今日の予定を、子どもが自分で確認できる形で示している
☐	☐	☐ 授業や活動の最初に、その時間の流れを伝えている
☐	☐	☐ 「何をするか」だけでなく、「いつ終わるか」も分かるようにしている
☐	☐	☐ 予定が変更になるときは、可能な範囲で事前に伝えている
☐	☐	☐ 子どもが困ったときの動き方や相談先を示している
☐	☐	☐ 子どもの実態に応じて、予定の量や示し方を調整している

この項目で見直したいこと・気づいたこと

場所や物の分かりやすさ

○	×	確認項目
☐	☐	☐ 子ども自身の机やロッカーの場所が明確になっている
☐	☐	☐ 教材や共用物の置き場所が決まっている
☐	☐	☐ 使った物をどこへ戻すか、子どもが判断できる
☐	☐	☐ 自由に使ってよい物と、確認が必要な物が区別されている
☐	☐	☐ 学習する場所、荷物を置く場所など、場所の目的が分かりやすい
☐	☐	☐ 教室内の動線に、ぶつかりや混雑が生じにくい
☐	☐	☐ 掲示や物が多すぎず、必要な情報を見つけやすい
☐	☐	☐ 子どもも続けられる整理整頓の仕組みがある

この項目で見直したいこと・気づいたこと

1. 子どもが迷いにくい環境をつくる

ルールや選択範囲

○	×	確認項目
☐	☐	☐ 必ず守ることが、短く分かりやすく共有されている
☐	☐	☐ 細かな禁止ルールを増やしすぎていない
☐	☐	☐ ルールを追加する前に、環境や手順で防げないか検討している
☐	☐	☐ 子どもが自分で選んでよい範囲を示している
☐	☐	☐ 「してはいけないこと」だけでなく、「してよいこと」も伝えている
☐	☐	☐ 大人の気分や場面によって、対応が大きく変わらないようにしている

この項目で見直したいこと・気づいたこと

この柱で優先して見直す場面

2. 子ども同士が安心して関われる環境をつくる

安心を守る基準

○	×	確認項目	
☐	☐	☐	自分や相手の心や体を傷つけないという基準を共有している
☐	☐	☐	からかい、暴力、一方的な指示などを曖昧にせず止めている
☐	☐	☐	子どもが「嫌だ」「やめてほしい」と伝えられる方法を用意している
☐	☐	☐	言葉で伝えにくい子どもにも、カードや身振りなどの方法がある
☐	☐	☐	子どもが必要に応じて相手と距離を取れるようにしている
☐	☐	☐	一人で過ごすことを否定的に扱っていない
☐	☐	☐	自傷行為などが見られた場合、安全確保と背景の見立てを行っている
☐	☐	☐	安全に関わる出来事を、必要な大人や保護者と共有している

この項目で見直したいこと・気づいたこと

2. 子ども同士が安心して関われる環境をつくる

ポジティブな関わりを生む仕組み

○	×	確認項目	
☐	☐	☐	子ども同士が短時間で無理なく関われる場面を作っている
☐	☐	☐	挨拶や物の受け渡しなど、小さな反応のやり取りがある
☐	☐	☐	「ありがとう」「助かった」が生まれる役割や活動を設定している
☐	☐	☐	声を出さなくても、指差しやうなずきなどで参加できる
☐	☐	☐	見学やパスを選べる活動がある
☐	☐	☐	大きく褒めることが負担になる子どもには、静かな反応を返している
☐	☐	☐	特定の子どもだけがいつも活躍する活動になっていない
☐	☐	☐	勝敗や学力差が強く表れすぎない活動を選んでいる
☐	☐	☐	活動後に気持ちを切り替えやすい時間や内容にしている

この項目で見直したいこと・気づいたこと

2. 子ども同士が安心して関われる環境をつくる

関係の固定や力関係

○	×	確認項目	
☐	☐	☐	年上の子どもを、いつも世話役にしていない
☐	☐	☐	年下の子どもを、いつも助けられる側にしていない
☐	☐	☐	教える側と教わる側が、場面によって入れ替わっている
☐	☐	☐	学級内で影響力の大きい子どもを把握している
☐	☐	☐	誰が活動や遊びの流れを決めているか観察している
☐	☐	☐	特定の子どもだけが我慢していないか確認している
☐	☐	☐	笑っていても、本当に楽しんでいるかを丁寧に見ている
☐	☐	☐	一方的な関係が続く場合は、担任が介入している
☐	☐	☐	必要に応じて、組み合わせ・活動内容・距離を調整している
☐	☐	☐	問題を止めるだけでなく、うまく関われる条件を探している

この項目で見直したいこと・気づいたこと

3 . 大人同士が連携し、安定して支える

情報共有

○	×	確認項目	
☐	☐	☐	子どものその日の体調や様子を、必要な大人と共有している
☐	☐	☐	活動中に配慮したいことを共有している
☐	☐	☐	子どもと決めた約束や、困ったときの対応方法を共有している
☐	☐	☐	担任が不在でも、最低限の対応ができる状態になっている
☐	☐	☐	保護者から得た情報を、必要な範囲で共有している
☐	☐	☐	個人情報を必要以上に広げていない
☐	☐	☐	口頭だけでなく、必要に応じて記録を残している
☐	☐	☐	支援方法を変更したときに、関係する大人へ伝えている

この項目で見直したいこと・気づいたこと

3. 大人同士が連携し、安定して支える

役割と協力

○	×	確認項目	
☐	☐	☐	担任、支援員、交流学級担任などの役割が明確になっている
☐	☐	☐	相手にしてほしいことを、具体的に伝えている
☐	☐	☐	特定の大人だけが仕事を抱え込んでいない
☐	☐	☐	お互いの得意なことを生かして役割を分担している
☐	☐	☐	必要な場面では、担当を越えて協力できている
☐	☐	☐	助けてもらったことや気づきを、言葉で伝えている

この項目で見直したいこと・気づいたこと

子どもの前での大人の姿

○	×	確認項目	
☐	☐	☐	子どもの前で、ほかの大人の対応を否定していない
☐	☐	☐	意見が違う場合は、子どものいない場所で話し合っている
☐	☐	☐	大人によってルールや対応が大きく食い違っていない
☐	☐	☐	子どもの前で、大人同士が穏やかに依頼や相談をしている
☐	☐	☐	大人同士が感謝や協力を伝える姿を見せている
☐	☐	☐	困ったときには複数の大人が支える姿勢を示している
☐	☐	☐	子どもが「誰に相談しても大丈夫」と感じられる状態になっている

この項目で見直したいこと・気づいたこと

子どもの姿から環境の変化を確認する

増えているか確認したい子どもの姿

○	×	確認項目
☐	☐	☐ 自分から予定や手順を確認している
☐	☐	☐ 必要な物を自分で準備・片付けできる
☐	☐	☐ 分からないときに質問や相談ができる
☐	☐	☐ 嫌なことや困ったことを、自分なりの方法で伝えられる
☐	☐	☐ 一人で過ごすことと、人と関わることを選んでいる
☐	☐	☐ 誰かの行動に、無理のない反応を返している
☐	☐	☐ 助けたり、助けてもらったりする姿が見られる
☐	☐	☐ 特定の子どもだけが我慢する状態が減っている
☐	☐	☐ 困ったときに、安心して大人を頼れている
☐	☐	☐ 教室で穏やかに過ごせる時間が増えている

この項目で見直したいこと・気づいたこと

優先して改善する項目と振り返り

一度にすべてを変えるのではなく、優先度の高い項目を3つまで選び、具体的な行動と確認日を決めます。

1 優先項目 1

見直すこと： _____

具体的に行うこと： _____

確認する日： _____

2 優先項目 2

見直すこと： _____

具体的に行うこと： _____

確認する日： _____

3 優先項目 3

見直すこと： _____

具体的に行うこと： _____

確認する日： _____

振り返り

改善してきたこと

引き続き観察したいこと

関係する大人と共有すること
